【資料３】

新発田市・胎内市・聖籠町定住自立圏共生ビジョン別冊の改定について

１　表紙

改定年月日を追加（令和６年３月（案））

２　目次　具体的事項「教育」－具体的取組「教育連携の推進」内

事業に「歴史資料デジタルアーカイブズ事業」追加

「歴史資料デジタルアーカイブズ事業」追加に伴いP7以降１ページずつ変更

３　全事業共通

（１）事業費…R4は実績額、R5は実績見込み額、R6は現時点の予定額に変更

（２）「新型コロナウイルスへの対応」…新型コロナウイルスが感染症法上の位置づけが５類感染症に移行したことに伴い削除

４　P4　校務支援システム運営事業　成果指標（KPI）

旧：校務時間（成績処理、出欠管理、通知表、指導要録作成等）の削減

新：教員１人あたりの校務（成績処理、出欠管理、通知表、指導要録作成等）に要する時間

改定理由：指標となる数値は削減数ではなく、校務に要する時間そのものであることから「の削減」を削除するもの。また、校務時間とは教員１人あたりの平均であることを明記するため

５　P6　歴史資料デジタルアーカイブズ事業　追加

６　P7以降

「歴史資料デジタルアーカイブズ事業」シート追加に伴い１ページずつ変更

７　P9　広域連携農産物等販売促進事業

（１）事業概要

旧：各市町の内外で開催されるイベントにおいて、圏域内の農産物等のＰＲや販売等を行うことにより、広域圏での地域農産物等の認知度の向上や消費拡大を図る。

新：各市町の内外で開催されるイベント等において、圏域内の農産物・特産品・加工品等のＰＲや販売等を行うことにより、広域圏での地域農産物等の認知度の向上や消費拡大を図る。

改定理由：令和 5 年度から事業の実施方法を見直し今後も同様の方法で連携していくことに加え、今後さらに圏域の魅力を PR することを目的に、新たな販売促進の手法についても検討していくため。

（２）費用負担割合

旧：各自治体で開催するイベントに要する費用（開催費、開催主体への助成金等）は、それぞれが負担する。

新：イベント等に要する費用（開催費、開催主体への助成金等）は、それぞれが負担する。

改定理由：同上

８　P20　移住促進事業

（１）事業概要

旧：県外の移住検討者に向けた移住セミナーや、お試し居住施設の提供などを連携して行い、圏域の暮らしや仕事などの情報を発信することで、広域的な移住促進を図る。

新：県外の移住検討者に向けた移住セミナー等や、お試し居住施設の提供や移住・定住に係る家賃・交通費等の補助などを連携して行い、圏域の暮らしや仕事などの情報を発信することで、広域的な移住促進を図る。

改定理由：これまで行っていた事業に加え、U・I ターンの就職推進などの新たな事業を開始する予定であるため。

（２）期待される効果

旧：セミナーの共同開催やお試し居住施設利用者への体験プログラムなどを共有することで、広域的な地方暮らしの魅力や仕事情報の発信が可能となり、移住者や関係人口の増加が期待できる。

新：セミナー等の共同開催やお試し居住施設利用者への体験プログラムなどを共有することで、広域的な地方暮らしの魅力や仕事情報の発信が可能となるとともに、家賃等の補助を行うことで移住にかかる負担を軽減し、移住者や関係人口の増加が期待できる。

改定理由：同上

９　P22　新潟職業能力開発短期大学校を中心とした産・学・官の連携強化事業　連携市町

旧）新発田市・胎内市・聖籠町

新）新発田市・胎内市

改定理由：誤りがあったため修正するもの

１０　P23　職員研修会共同実施事業　成果指標（KPI）

旧：市町間で実施していく合同研修会への参加予定人数

新：市町間で実施していく合同研修会への参加人数

改定理由：成果指標は実績値で計測するため、「予定」を削除するもの。